

校内 LAN の効果的な活用法の研究

パソコン研究部

1 はじめに

各小学校での、新機種パソコンの導入や校内 LAN の整備が完了してから、1年余りが経過し、町内各小中学校におけるパソコンの活用が、軌道に乗りつつある時機を迎えていきます。

そこで、今年度のパソコン部会では、どのように校内 LAN を活用すれば効果的に活用できるのかについて研修を深めることにしました。

以下に、今年度の研修の様子を報告いたします。

2 「一太郎スマイル」の活用例

(1) 第6学年 国語「卒業記念文集の原稿を作ろう」(総合的な学習との関連)

展開

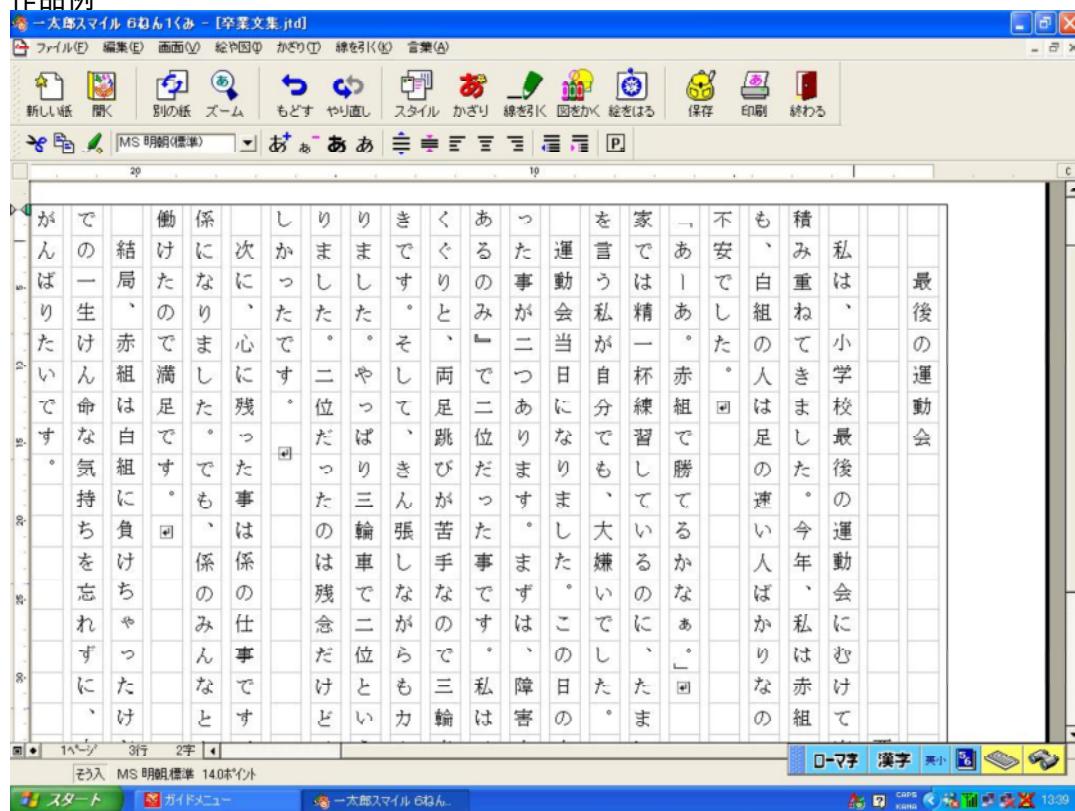
文集に載せたい作文の題材を決め、ノートに書く。

「一太郎スマイル」の原稿用紙モードで下書きをする。

校正をする。

文集用原稿用紙に清書をする。

作品例



活用の利点

- 原稿用紙のスタイルを設定することができるので、規格のサイズ（400字詰め原稿用紙など）以外の文字数の原稿用紙もできる。文集のサイズ（文字数・行数）に合わせて用紙を作ることが、児童でも簡単にできる。
- 「ATOKスマイル」の辞書が学年の発達段階で設定できるので、漢字変換が容易にでき、文章の中に漢字を使用するのが苦手な児童でも、誤った使い方が少なくなる。
- 用紙のます目も含めて印刷できるので、見ながら清書しやすい。

(2) 第6学年 社会「歴史新聞を作ろう」

展開

学習したことから新聞にしたいことを決める。

インターネットなどを使って、さらに詳しく調べる。

記事集めをする。

「一太郎スマイル」のワープロモードで、新聞の記事を書く。

「一太郎スマイル」のお絵かきモードで、挿絵やカットなどをかく。

全体のレイアウトを考え、新聞を構成する。

作品例

発行者 ○○ ○○

文明開化

いろいろな『はじめて』

①牛を食べるようになる (絵は牛鍋)
1868年(明治元年)～
それまで仏教の教えが人々に広まっていた日本社会では、生き物を殺生して食べ物にすることは良くないことだと考えられていきました。ところが、欧米の食文化が紹介されると、牛肉を食べないものは文明開化を口にするなどといわれるほど流行しました。(牛なべ屋の開業は1862年)

②電信がはじまる
1869年(明治2年)～
電報のように、電線を使い文字などを送る電信が一部で使われるようになりました。電線を使い電気信号が相手に伝わる、ということが一般の人には分かりづらく、「針金が荷物を遠くに運んでくれる」と勘違いして、小包を電線に結びつける人などもいました。

③新聞がはじまる
1870年(明治3年)～
それまでも瓦版(かわらばん)など人々の情報源となつたものはありましたが、日本ではじめて新聞が発行されたのは明治3年のことです。横浜港に着いた外国人たちが読んでいた新聞を参考に、つくられた日刊新聞「横浜毎日新聞」で、最初は洋紙1枚の新聞でした。

④郵便がはじまる
1871年(明治4年)～
このような郵便制度は、明治4年からはじまりました。今までの郵便ボストンも街頭に立ちはじめましたが、木製で「郵便」と書かれた箱でした。

⑤髪型が自由に
1871年(明治4年)～
身分制度が厳しかった江戸時代では、職業などによってどのような髪(まげ)を結ぶか決まっていました。明治になり、髪型が自由になつた。

⑥暦(こよみ)が太陽暦(たいようれき)に
1872年(明治5年)～
欧米の人たちとさまざまな取引をするときには、同じ日付にしておかないと不便なため、日本も太陽暦を使い始めました。日本は明治5年の1月3日付。

活用の利点

- レイアウト枠や画像枠を自由に配置することで、体裁を整えた新聞を作ることができる。
- 図や写真などを加工できるので、オリジナルの挿絵などを作ることができる。

3 「ジャストスマイル2」導入に向けて



(1) 「一太郎スマイル」(ジャストシステム) の現状での利用について
現在パソコン室等に導入されている「一太郎スマイル」の活用状況は、例えば、パソコン入門の際、児童の感性を簡単な操作でパソコン上に表現できるので、「一太郎スマイル」のお絵かきソフトをよく利用している。児童にとってとても使いやすいソフトである。

お絵かきソフトによってパソコンを利用し、そこから発展してワープロと

して文章を表現することにもつなげている。「一太郎スマイル」のワープロとしての機能も、小学生向けに学年にあった漢字変換に切り替わり、日本語入力もとてもやり易いものとなっている。

また、委員会などで各種カードを作成したり手作り賞状を作成する場合なども、子ども用の多彩なテンプレートが用意されていてそこを選ぶだけなので、さまざまな見栄えのよい賞状などを作っている。

しかし、一方、表計算ソフトを使って、表やグラフの指導をしたいと思っても、「一太郎スマイル」はワープロソフトのため、指導することができない。また、デジタルカメラからの写真の取り込み、インターネットを使った調べ学習で、ホームページからの絵や文章を取り込むのには、別のソフトを使わなければならず不便を感じている。さらに、メール・プレゼンテーションソフト（発表）については、「通信くん」・「発表くん」（TDK）というソフトが導入されているが、「一太郎スマイル」(ジャストシステム) と違うメーカーのソフトのため、別の操作の指導が必要になり、時間的にも無駄が多くなっている。

そして、それぞれのデータの保存場所が一括して保存できず、数カ所に分散するため、効率が非常に悪い状況にある。

以上のような状況を解決する必要性が現在高まってきている。その解決手段として、様々なソフトが統合された「学校教育用統合ソフト」の導入があげられる。その導入に向けて、パソコン研究部会でも研究を重ねてきた。

(2) 「ジャストスマイル2」(ジャストシステム) について

数多くある「学校教育用統合ソフト」の中でも、現在導入されている「一太郎スマイル」が含まれる「ジャストスマイル2」(ジャストシステム) が最適ではないかと思われる。

理由としては、例えば、この統合ソフト1本あれば、パソコン授業に必要なソフトがほとんど統合されているため、他のソフトを使わなくてもすむということがあげられる。

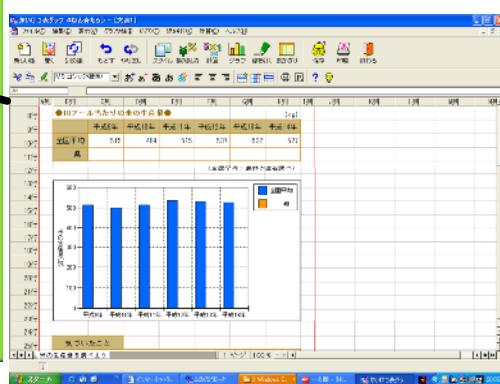
主なソフトだけでも、以下のものが統合されている。

小学生用日本語ワープロ「一太郎スマイル2」
 小学生向けプレゼンテーションソフト「はっぴょう名人2」
 自ら学ぶ作文ソフト「ひらめきライター2」
 自ら学ぶインターネット活用ソフト「なるほどねっと2」
 小学生向け表計算ソフト「かいつけつ表グラフ2」
 小学生用ペイント&レタッチ「スマイルペイント2」
 地図作成ソフト「地図スタジオ」等

「ジャストスマイル2」トップページ



「一太郎スマイル2」
現在導入されている、「一太郎スマイル」のバージョンアップ版



「かいつけつ表グラフ2」
「総合的な学習の時間」等で調べたデータをグラフ等にしてまとめる際に活用できる。



「なるほどねっと2」
インターネットを利用した調べ学習の際、ホームページの画像・絵・文
章を簡単に取り込むことができる。



「地図スタジオ」
簡単に絵地図が作成できる。道路や川、建物なども簡単に描ける。生活科の学習や、「総合的な学習の時間」での地域の調べ学習の際にも便利なソフトである。

上記の他に、「ジャストスマイル2」は、以下のような特徴も備えている。

ファイルの一括管理「マイフォルダ」

自分の作品等を一人ひとりの「マイフォルダ」に全てまとめて保存・管理できる。

デジタルカメラからの写真の取り込み

デジタルカメラの写真も、「ジャストスマイル2」を使って、簡単にマイフォルダに取り込むことができる。

以上が、パソコン研究部会で試用してみた結果である。

「ジャストスマイル2」は、小学校の様々な授業場面にぴったりのソフトが統合されているといえる。もし導入することになれば、児童にとっては、統合された共通の操作を覚えるだけでよく、効率よく学習に取り組むことができる。指導者にとっても無駄な負担が大幅に軽減されると思われる。

「ジャストスマイル2」(ジャストシステム)導入にむけて、パソコン研究部会でも引き続き研究を重ねていきたいと思う。

4 大平中のコンピュータ室の活用状況について

(1) 技術・家庭科の授業での活用

- ・ 技術科「情報とコンピュータ」の授業において
1年から3年生まで各学年の授業で活用されている。
- ・ 外部講師による授業実践において
平成16年度も、1学年の授業において「(株)三協コンピュータ」の社員の方を特別講師としてお招きして、各学級一時間づつコンピュータの基本動作についての実技講習をしていただいた。



(2) 社会科の授業での活用

- ・ 調べ学習の授業において
人権問題の歴史的経緯など調べ学習の一助としてインターネットで検索するためにはコンピュータを活用する。平成16年度は6月に、3年生の公民においてコンピュータを活用した研究授業を実施した。

(3) 美術科の授業での活用

- ・ デザインの授業において
平面構成の図案をアイディアスケッチする際に、描画のできるソフトを用いて幾

何的な図形を描いたり、配色計画を考えたりする時にコンピュータを活用する。

(4) 学級会活動での活用

- ・ 進路の授業において

県内の高等学校を調べる際に、インターネットでそれぞれの高校のホームページを検索しながら、学校調べをする。

(5) 総合的な学習の時間での活用

インターネットの検索によって情報招集し、調べ学習を進めるための活用をする。

(6) 部活動としての活用

コンピュータ部として週2～3回放課後に活動している。部員は27名おり、パソコン検定の合格を目指すなど、皆熱心に活動している。

5 大平南中のパソコンを活用した授業について

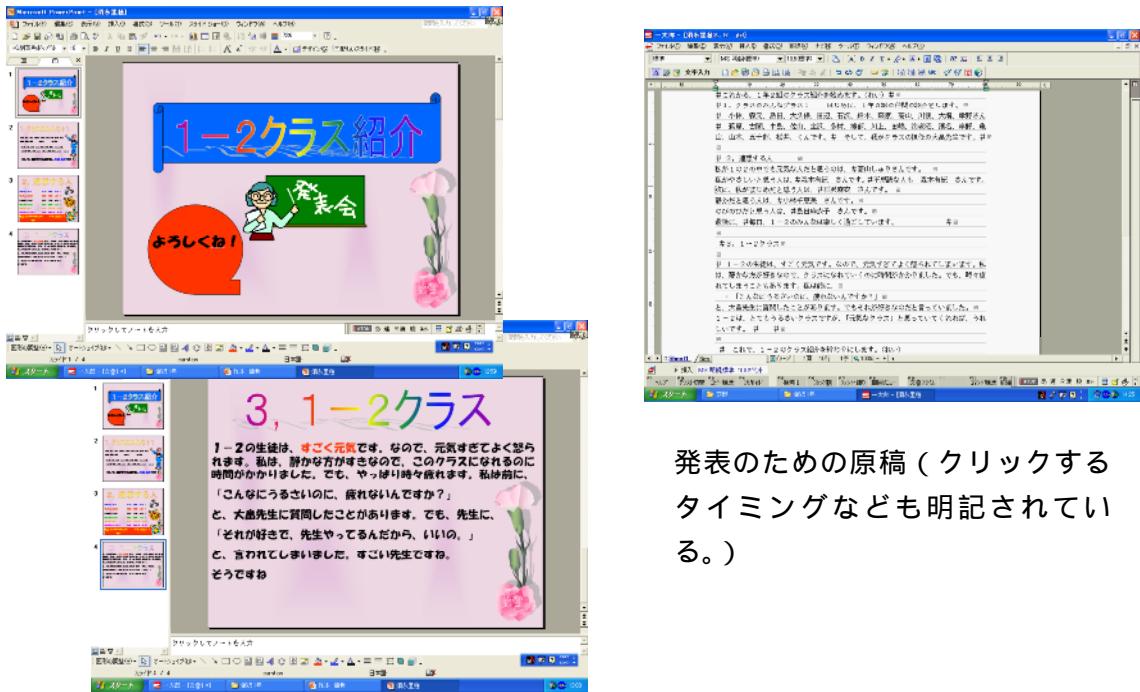
1年生の選択技術・家庭科の授業では、「各種紹介プレゼンテーションをつくろう」ということで、自分の趣味や所属するクラス・部活動の紹介をすることを目的として作品を作った。動画を取り込んだり、写真を貼り付けたりと工夫している生徒も見られた。更には、作ったプレゼンをもとに発表原稿を作成し、発表会を実施した。その発表会では、友達が作った作品を見て、「分かりやすく作られているか?」という観点のもとに相互評価を行った。

伝えたいことを上手に表現できない生徒が増えてきていることを考えると、他の人に正確に伝達する機会が必要であると感る。このようなことを「総合的な学習の時間」取り入れていくべきであろうと思う。



動画を利用したページ（クリックすると戦車が動き出す。）

生徒作品 その2



発表のための原稿（クリックするタイミングなども明記されています。）

ここでは授業で活用している一部を掲載した。

6 おわりに

各小中学校で、校内 LAN を活用した授業実践が行われているが、小学校においては、更に、校内 LAN を有効に活用するための優れた学校教育用統合ソフトを導入することが必須であると思われる。

また、コンピュータ室と普通教室・特別教室とを、1つの校内 LAN として再構築していくことも、校内 LAN を今後ますます活用していく上では、欠かせない環境と言えるであろう。

最後に、各小中学校において、校内 LAN の活用が図られ、子どもたちの学習効果が少しでも上がることを期待したいと思う。そして、今年度の我々パソコン部会の研究が、大平町の情報メディア教育の向上に、少しでも役立つことができたら幸いである。